

農繁期

レポート

令和4年 4-5月号

栄ファーム

オーナー 栄運輸工業株式会社

水田面積 18.4アール

保証量 玄米 828kg

形態品種 特別栽培コシヒカリ



生産者 三上 惇二

今年も継続していただき感謝申し上げます。沢山降った雪も春の暖かさであつという間になくなり、慌ただしい春の作業が始まりました。雨の少ない4月5月で水は少ないように思えましたが豊かな山のおかげで田植えまで順調に作業が進みました。5月初めから始まった田植えは凍えるような寒さの日もあれば暑くて大変な日もありましたが無事終えております。今年も田んぼのすぐそばの山の藤が綺麗で田植えをしながら良い花見もできました。これから終わらない草刈りが始まりますが体調に気を付けてやっていきます。

4月～5月の作業内容

1. 育苗(いくびょう)

苗半作という言葉があり、育苗は稲の生育や収量に大きな影響を与えます。数百枚の苗箱をハウス内に並べる作業はそれなりに重労働なので皆で協力して行います。そして適切な温度管理・水管理を行い良質な苗を育てます。



ハウス育苗

2. 田起こし・荒起こし

最近では稲刈り後の秋と田植え前にも肥料を混ぜて数回行います。田んぼの深さを均平化して水管理をしやすくする意味があります。田んぼ内で高低差があると肥料がまんべんなく行き届かなくなったりする為です。



田起こし

3. 代かき(田植え直前準備)

田んぼに水を張って土を丁寧に細かく砕き、土の表面を平らにする作業です。代かきは苗を植え易くし、肥料をむらなく土に混ぜ込み、また雑草等も全て埋め込むこととでその後の雑草の発芽を防ぐ役割もあります。



代かき (表面を平らにする)

4. 田植え

田植え機に苗と肥料をセットし植えていきます。大型農園では田植えは3人一組で行います。機械を動かす人、肥料セットやその他水管理等を行う人に分業し、機械を操作する人が最後まで降りないよう段取り良く進めます。



田植え